

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズエール刈谷		
○保護者評価実施期間	2024年 12月13日	～	2024年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2024年 12月13日	～	2024年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供たちが楽しく通って来てくれていること	一人一人の子供たちの関係性から子供同士の関わりから生まれる雰囲気も見ながら準備した支援プログラムを柔軟に提供しながら「楽しい」と感じて自発的に参加できるように声掛けするよう心がけている	楽しく自発的に活動すると共に季節に合わせたイベントや取り組みなどを声掛けなども含め子供たちと一緒に楽しく準備できるような環境作りをおこなっていく
2	異年齢児との集団活動を通じた周りとのコミュニケーションや接し方の獲得	利用児童同士の関りを意識した集団活動を行っている未就学児と就学児との関わる活動や場面がある	様々な子供達と一緒に体験できる集団活動や活動を考えコミュニケーション活動の場の計画を立てていく
3	経験豊富な職員が充実している	様々な職種で支援を行っており常に今だけではなく「子供の達の未来」を考え先を見据えた支援ができるスタッフの育成やスタッフのそれぞれの考えや思いを大切に、実践することを意識し取り組んでいる	今いるスタッフたちも、やりがいを持ち楽しく仕事が続けていけるように、現場の声をしっかりキャッチし、より良い職場環境をつくっていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所外部環境に関して	階段の昇降時の転落のリスクがある(天候不良時や夜間の使用は視認性低下しやすい)	階段を利用する際はスタッフが児童と一緒にいきい危険がないような運用を行っています。
2	保護者さま同士の交流会の開催できていないこと	ご利用いただいている保護者様同士の交流会や意見交換会を定期的の実施できていない	ご家族の交流をしたいというお声もいただいておりますので今後保護者同士の交流の機会を作っていきます。
3	事業所運営の透明化	スタッフの名前と顔が一致せずわかりづらい点やイベント行事や避難訓練、感染対策など事業所からの発信が少なく保護者様への浸透が低い	スタッフ紹介など出来る範囲で紹介年間スケジュールを作成し各種緊急事項関連は定期的に会報として発信していく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	キッズエール刈谷
------	----------

公表日 2025年 1 月 30 日

利用児童数 2024年 12 月 20 日 回収数 11

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	2				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	3				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。 また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1				
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、 子どもの特性等に応じた専門性のある支援が 受けられていると思いますか。	6	3		2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、 事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	1		3		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が 客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が 作成されていると思いますか。	11					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの 「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」で示す 支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、 その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	1		3		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう 工夫されていると思いますか。	7	2		2		
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、 その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	4	1	2	4		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、 利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、 支援内容の説明がなされましたか。	10	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や 家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2	2	3		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの健康や発達の状況について共通理解が できていると思いますか。	9	1		1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2				

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	1		1	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	4	5	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			1	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9			2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1		1	
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1		5	
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			7	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			3	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			4	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	2		1	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	3			お迎えの車が来ると嬉しそうに乗って行くので、楽しい場所だと感じてくれていると思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	2		1	子供の知的障害の程度が重く、手もかかるのではと思いますが、受け入れてくださり大変ありがたいです。見学時の説明も丁寧で、体験もしっかりさせていただいたりついでに契約ができたので安心感もありました。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		キッズエール刈谷		公表日			2025年 1 月 30 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	3					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	3					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	2					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0					
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	1					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	1					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	3					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0					

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	4		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	2		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	3		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	2		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	3		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	2			

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	6		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10	1		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	3		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	1		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	5		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	3		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	3		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	4		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	2		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1		

心	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	1		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズエール刈谷		
○保護者評価実施期間	2024年12月20日	～	2025年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2024年12月13日	～	2024年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月21日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供たちが楽しく通って来てくれていること	一人一人の子供たちの関係性から子供同士の組み合わせから生まれる雰囲気も見ながら準備した支援プログラムを柔軟に提供しながら「楽しい」と感じて自発的に参加できるように声掛けするよう心がけている	楽しく自発的に活動すると共に季節に合わせたイベントや取り組みなどを声掛けなども含め子供たちと一緒に楽しく準備できるような環境作りをおこなっていく
2	異年齢児との集団活動を通じた周りとのコミュニケーションや接し方の獲得	利用児童同士の関りを意識した集団活動を行っている未就学児と就学児との関わる活動や場面がある	様々な子供達と一緒に体験できる集団活動や活動を考えコミュニケーション活動の場の計画を立てていく
3	経験豊富な職員が充実している	様々な職種の間があり常に今だけではなく「子供の達の未来」を考え先を見据えた支援ができるスタッフの育成やスタッフのそれぞれの考えや思いを大切に、実践することを意識し取り組んでいる	今いるスタッフたちも、やりがいを持ち楽しく仕事が続けていけるように、現場の声をしっかりキャッチし、より良い職場環境をつつていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所外部環境に関して	階段の昇降時の転落のリスク増(天候不良時や夜間の使用は視認性低下しやすい)	各段差ごとに滑り止めマットの使用や段差に違いが分かるように蛍光色などで見やすさを改善する
2	保護者さま同士の交流会の開催できていないこと	ご利用いただいている保護者様同士の交流会や意見交換会を定期的実施できていない また、感染症の流行などを見ると一堂に集まって過ごすことにリスクあり	地域の感染症流行状況や子供たちの様子など丁寧に観察し、半年に1度保護者会を開催し保護者同士の交流や事業所への意見交換会を実施する
3	事業所運営の透明化	スタッフの名前と顔が一致せずわかりづらい点やイベント行事や避難訓練、感染対策など事業所からの発信が少なく保護者様への浸透が低い	スタッフ紹介など出来る範囲で紹介年間スケジュールを作成し各種緊急事項関連は定期的に会報として発信していく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	キッズエール刈谷				公表日	2025年1月30日					
		利用児童数	2025年1月20日				回収数	14			
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1		1					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			3	スタッフの顔と名前が一致しないため一覧があるといい。 何人体制で療育しているのか知りたい	スタッフ一覧の作成と 普段の支援の様子を面談の際などにお伝え していきます。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。 また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、 バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	5		2	階段を登り切った踊り場の門扉の箇所が心配。 (階段からの転落)	階段を利用する際はスタッフが児童と一緒に に行い 危険がないような運用を行っております。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	2			足の裏が真っ黒になることがよくある。	施設の清掃を行っておりますがより一層 気を付けて行っております。			
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1		4	子供の嘔み癖が出たとき、原因と一緒に考え てくれた。親身になって子供と接してくれた。	問題が起きた際にはお母さん、本人と向き 合い一緒に相談や問題解決などを行って いきます。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、 事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	2		4					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が 作成されていると思いますか。	11	3							
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の 「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で 示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、 その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	2		2					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	2		2					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう 工夫されていると思いますか。	4	5		5	個別のことは共有していただき様子や状況がわかる。 全体での活動があれば、どのような活動をしたいの か知りたい。				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、 地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	4	6					
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、 利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14				とても丁寧でした。				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、 支援内容の説明がなされましたか。	12	1	1						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や 家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	4	5					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、 こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	11	3			送迎時に1日の様子を教えていただいている。				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が 行われていますか。	7	6		1	送迎時や連絡帳、その日の写真をもらえて様子を 共有している。				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1							
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、 保護者同士の交流の機会が設けられるなど、 家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、 きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、 きょうだいへの支援がされていますか。			8	6					

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような事があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1			いつもLINEや写真で様子を教えていただき安心できる。支援の様子がわかるように1日1枚写真を送るよう心がけております。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8		1	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1		8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	2		10		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	2		3		
	26	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				子供がスタッフの事好き 楽しく通うことができます。	楽しく施設に通ってくれて スタッフとしてもうれしいです
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13			1	毎日楽しみにしています。	楽しく施設に通ってくれて スタッフとしてもうれしいです
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	3			お出かけやイベントがあると子供にとって良い経験になる。	施設に通う中で様々な体験ができるように 支援をお行っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズエール刈谷		公表日	2025 年 1月 30 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。 また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	10	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	3		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	2		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	4		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	2		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	3		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	9	2		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	8	3			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	5		

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	9	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	3		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	5		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	2		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	4		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1		

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	1		